

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和5年第3週の発生動向

### トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が7,574例あり、先週(14,563例)の約0.5倍であった。2023年の累積報告数は42,745例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

### 全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。  
4 類感染症：つつが虫病 1 例。5 類感染症：梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		延岡	80歳代	女	粟粒結核	咳、痰、呼吸困難
4類	つつが虫病	小林	60歳代	男	—	頭痛、発熱、発疹、全身倦怠感
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			50歳代	男	無症状病原体保有者	なし

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,470人(定点当たり31.7)で、前週比117%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

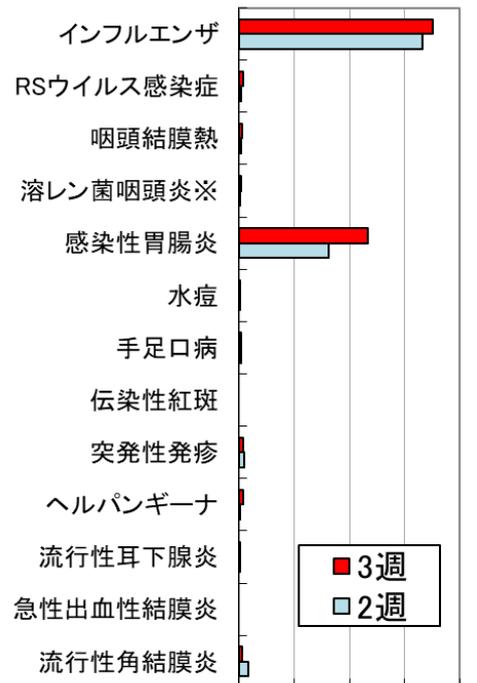
報告数は985人(17.6)で、前週比106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(28.8)の約0.6倍であった。延岡(28.3)、宮崎市(24.1)、都城(15.6)保健所からの報告が多く、年齢群別は10歳未満が全体の約6割を占めた。

##### 【感染性胃腸炎】

報告数は409人(11.7)で、前週比144%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(10.8)の約1.1倍であった。小林(17.0)、宮崎市(15.3)、高鍋(15.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

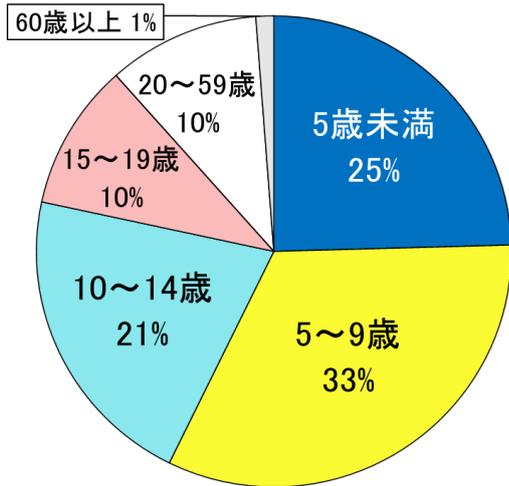


0 5 10 15 20

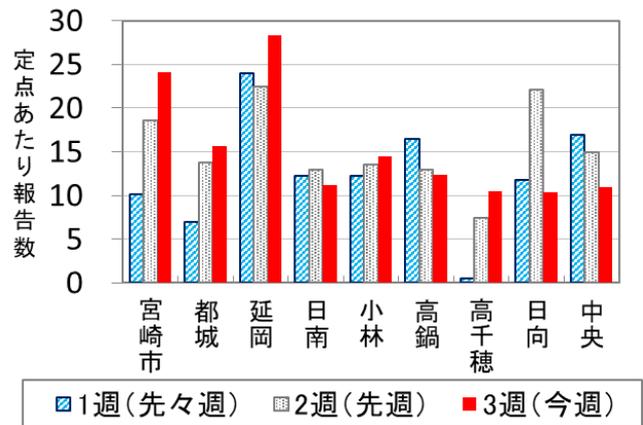
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

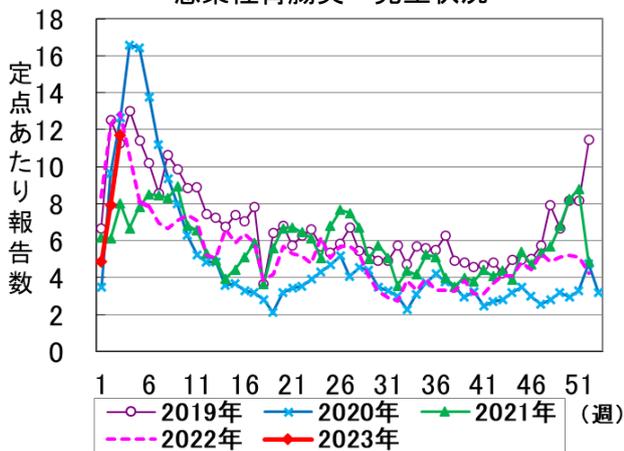
インフルエンザ年齢群別グラフ(第3週)



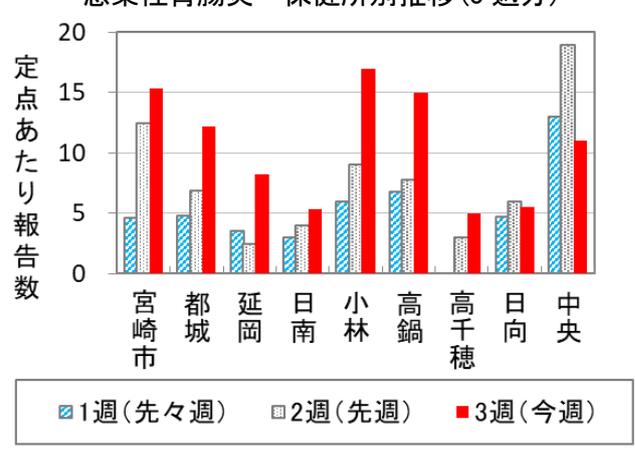
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(24.1)
都城	インフルエンザ(15.6)
延岡	インフルエンザ(28.3)
日南	インフルエンザ(11.2)
小林	インフルエンザ(14.5)
高鍋	インフルエンザ(12.3)
高千穂	インフルエンザ(10.5)
日向	インフルエンザ(10.3)
中央	インフルエンザ(11.0)、水痘(1.0)

\*流行注意報レベル基準値\*

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年1月23日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	10歳代	男	2022.12.07	発熱(38.0℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2022.12.16
EPEC(O103:H7)	0～4歳	男	2022.12.10	胃腸炎(血便)	便	2022.12.20
EPEC(OUT:H45)	5～9歳	男	2022.12.12	発熱(38.0℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2022.12.21
EPEC(OUT:H51)	50歳代	女	2022.12.14	無症状	便	2022.12.22
EPEC(OUT:H2)	80歳代	女	2022.12.14	胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2022.12.28

○5名から腸管病原性大腸菌（EPEC）が分離された。EPECの判定基準はeae（インチミン遺伝子）陽性の大腸菌で、ST/LT/VTを持たない大腸菌とされる。EPECは細胞に強固に接着することで小腸の微絨毛などを破壊して下痢を引き起こす。EPEC感染症は、乳幼児においては、しばしば重症化しコレラ様の脱水症状が見られることもある。また、食中毒の起因菌となる場合もあり、注意する必要がある。

★ウイルス なし

🇯🇵 全国 2023 年第 2 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	154 例			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18 例	腸チフス	1 例	
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	1 例	つつが虫病 6 例
	デング熱	1 例	レジオネラ症	25 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバベネム耐性腸内細菌感染症 14 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16 例	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 6 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	32 例	水痘(入院例)	2 例	梅毒 134 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	百日咳	8 例	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週(年始含む)比153%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘と手足口病であった。

インフルエンザの報告数は36,388人(7.4)で前週比156%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(16.8)の約0.4倍であった。沖縄県(33.2)、福岡県(17.0)、宮崎県(16.6)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約6割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は18,155人(5.8)で前週比165%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(4.9)の約1.2倍であった。香川県(10.6)、埼玉県(9.2)、千葉県(8.9)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(69定点医療機関)

2023年 第03週(01月16日～01月22日)

疾病名		第02週	第03週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	949	985	338	156	198	56	58	74	21	62	22
	定点当り	16.65	17.59	24.14	15.60	28.29	11.20	14.50	12.33	10.50	10.33	11.00
RSウイルス 感染症	報告数	8	13	1	7			5				
	定点当り	0.22	0.37	0.11	1.17	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	11	3	6						1	1
	定点当り	0.17	0.31	0.33	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	5	8	1	4					1		2
	定点当り	0.14	0.23	0.11	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	292	409	138	73	33	16	51	60	5	22	11
	定点当り	8.11	11.69	15.33	12.17	8.25	5.33	17.00	15.00	5.00	5.50	11.00
水痘	報告数	3	3	1	1							1
	定点当り	0.08	0.09	0.11	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	7	8	1	2	1					4	
	定点当り	0.19	0.23	0.11	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	12	3	2	2	1	2	2			
	定点当り	0.44	0.34	0.33	0.33	0.50	0.33	0.67	0.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	15	10		2	1		2			
	定点当り	0.14	0.43	1.11	0.00	0.50	0.33	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	4		1	3						
	定点当り	0.03	0.11	0.00	0.17	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	2	1		1						
	定点当り	0.83	0.33	0.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:56、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

\* 前週(第2週)の値には一部修正があります。

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～3週)

2類感染症	結核	10例(2)				
4類感染症	つつが虫病	5例(1)				
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	6例(2)
	百日咳	1例				
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	42745例(7574)				

( )内は今週届出分、再掲